

青少年を非行から守ろう！ 第70回社会を明るくする運動

7月1日、社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式が行われ、下野保護区保護司会上三川町分区長から町長へ、内閣総理大臣メッセージが伝達されました。

例年は街頭啓発やミニ集会を実施し非行防止を呼びかけていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、これらの接触型の広報活動は中止しました。

7月の強調月間中は町庁舎に懸垂幕やのぼり旗を掲出し、町内小中学校・上三川高校に啓発物の配布を行いました。



思いやりの心で 花を咲かせよう

6月17日、明治小学校で人権擁護委員による「人権の花」の贈呈式が行われました。

「人権の花」運動は、児童が協力して花を育てることで、思いやりの心を育て人権への理解を深めることを目的としています。

今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、校内のテレビ放送を通じて稲見和正委員いなみ かずまさから子どもたちへメッセージが届けられました。



上三川町民生委員児童委員協議会 学校の消毒作業ボランティア活動に参加

7月21日、上三川町民生委員児童委員協議会では、明治南小学校において児童下校後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、消毒作業（ドアノブ・手すり等）のボランティア活動を行いました。

学校教職員の新たな負担「新型コロナウイルス対策業務」の負担軽減を目的とするとともに、児童委員の職務であります「児童の健全育成のための地域活動」の一環として計画したものです。他の小中学校でも実施しており、今後も継続する予定です。



上三川町干びょう推進対策協議会が“ふくべ”を贈呈

7月15日、上三川町干びょう推進対策協議会が、上三川町立学校給食センターに、“ふくべ”130kg(20個)を贈呈しました。

これは、本町の伝統特産物である“ふくべ”を学校給食に提供し、子供達に食育の推進や地産地消の大切さを伝えることを目的として、平成30年度から実施されています。

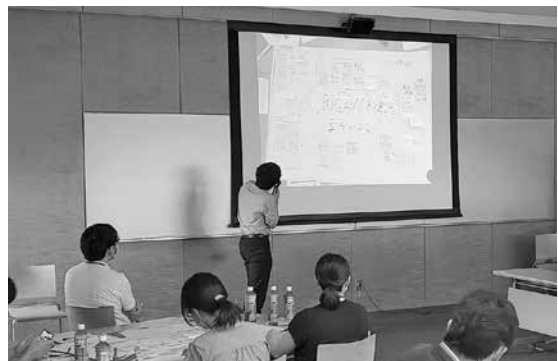


日本伝統の“ORIGAMI”を上三川から・・・

7月28日、上三川いきいきプラザ大会議室で、折り紙を使ったまちおこしのアイデア会議が開催されました。

日本伝統のORIGAMIを「海外に誇れる日本文化」として、世界に普及させた創作折り紙の第一人者「吉澤章」先生。この会議では吉澤先生の出身地である本町だからこそ出来る折り紙を使ったまちおこしのアイデアを話し合いました。公募による参加者と本町の若手職員がグループに分かれ、それぞれのグループで出た意見を発表するなど、活発な意見交換が行われました。

今後は、今回の会議で出たアイデアを基に、事業化に向けて検討を進めていくこととなります。



町の将来像実現に向けて 包括連携協定を締結

7月13日、町と第一生命保険株式会社で、包括連携協定を締結しました。

本町が目指す将来像「共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川」の実現に向け、地域の活性化や住民サービスの向上を図ることを目的として、今回の協定を締結しました。

今後は、健康増進や女性の活躍、地域経済の活性化、防犯・防災に関することなど、多方面に渡り連携して取り組んでいくこととなります。

